

兵庫県立農林水産技術総合センター

森林林業技術センターの概要

森林林業技術センターは、昭和9年に兵庫県林業試験場として設置されました。平成7年4月には、県立森林・林業技術センターと改称して、林業生産に関する研究に加えて、豊かな森づくりや県産木材の利用推進に関する技術開発と普及に取り組んできました。

平成14年4月に、県立の農林水産関係6研究機関を統合し、農林水産技術の開発と普及が一体となった「県立農林水産技術総合センター」が設置され、森林林業技術センターはその一翼を担い地球温暖化対策や資源循環型社会に適応した技術開発と普及に取り組んでいます。



各部の概要

資源部

資源部では森林資源を育成・保全するために、

森林のもつ多面的機能を維持・向上させるための技術開発及び自然災害に強い森づくりのための技術開発に取り組んでいます。

林木育種・種苗、森林保護、治山関係等の事業を実施し、行政の支援を行っています。

独立行政法人等との共同研究、各種研修・講習会の講師等により他機関との交流に努めています。

木材利用部

木材利用部では成熟しつつある県内森林資源の有効活用を図るため、

県産木材の品質確保、県産木材の用途拡大、木質バイオマスの利用促進等の技術開発に取り組んでいます。

木材産業との共同研究、木材に関する技術指導・相談を行っています。

木材製品の強度、含水率等の依頼試験の実施を行っています。

技術研修会の開催、技術アドバイザーによる企業指導等を行っています。

普及部

林業技術の普及と担い手の育成をめざして

森林所有者等を対象に林業経営・造林・キノコ等さまざまな林業技術定期研修を実施しています。

林業技術を普及する林業普及指導員に対して研修を実施しています。

森林・林業に関する試験研究の成果の現地適応化を進めています。



緑化センター

緑化センターでは県下に優良な種苗を供給するためのスギ、ヒノキ、アカマツ、クロマツ採種園の育成・管理を行い、種子の生産を行っています。